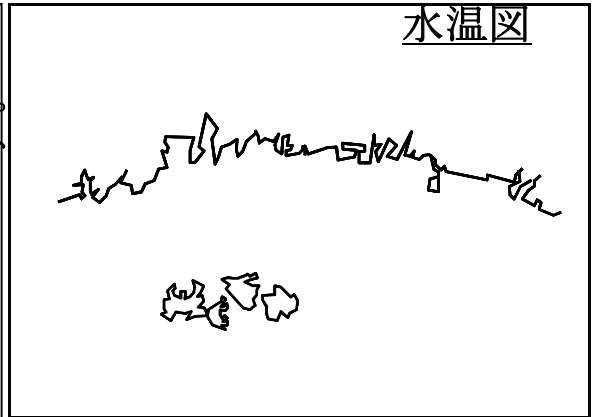


# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 9 号)

平成29年1月17日発行  
 兵庫のみ研究所

冬型の気圧配置による時化が数日続いた後の調査でした。窒素は地先漁場の一部を除き  $4 \mu\text{g at} / \text{L}$  台、沖合漁場では  $4 \sim 5 \mu\text{g at} / \text{L}$  台でした。この海域全般にユーカンピアを含め珪藻の発生量に大きな増減は見られず、栄養塩も平年より高い値で推移しています。

**(栄養塩、珪藻)** 赤穂漁場において、キートセロスやスケルトネマ、レプトシリンドラス等複数種の珪藻がやや多く見られた。それ以外の地先漁場についてもこれら珪藻が同様に確認されるが発生量は前回 (1/6) 調査と比較し大きな増減はない。沖合漁場においても地先漁場で見られる複数種の珪藻が散見される状況。ユーカンピアについて海域全般に見られるものの、地先・沖合漁場ともに発生量は増加しておらず前回調査と同じ、もしくはやや少ない状況であった。



		前回は	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	6.6	4.1	1.3	1.4
	リン	0.69	0.53	0.29	0.31
家島・坊勢	窒素	5.4	4.9	4.0	5.9
	リン	0.66	0.64	0.55	0.70

(1/6) (1/16)

## 栄養塩 (窒素) 図

平成29年1月16日調査

